

開高健の命日

# 悠々忌、近づく

戦後文学の旗手で芥川賞作家の開高健は大阪で生まれ、育ちました。小説、ルポ、随筆と幅広い文学足跡を残しました。豊富な読書量と行動に裏付けられ、該博な知識と反芻された豊穡な語彙で綴られた文章は多くの人を魅了します。開高文学の根本は生まれ育った大阪で培われました。大阪が産んだ作家開高健を顕彰するため開高健の命日12月9日(日)に「悠々忌」を開催します。また11月30日(金)から田辺にある画廊で「開高健とサントリー」展を開催し、コピーライターとしての開高健を「クローズアップ」します。皆様のご参加をお待ちします。

・ 「悠々忌」12月9日(日)午後4時から

★第1会場 近鉄南大阪線北田辺駅 開高健文学碑前で「開講 健の名言」短冊と開高が好きだった水仙の花を献じます。

★第2会場 「友愛センター北田辺」  
「トリスバー」再現で開高を偲ぶ

トリスバーの定番、干しぶどう、塩豆などをアテに、アングルトリスの動画などを見ながらトリスウィスキーを飲み開高健を偲びます。

参加費 第1会場 無料、第2会場1500円

・ 開高健編集の「洋酒天国」を展示  
「開高健とサントリー」展

11月30日(金)～12月11日(火)

場所：須田画廊：大阪メトロ谷町線「田辺駅」そば  
大人気となった貴重なポケット雑誌「洋酒天国」を展示  
「洋酒天国」はサントリーの販促雑誌として開高健が編集しました。広告臭さがなくハイセンスな趣味性に富んだお洒落な本として話題になり、当時破天荒な20万部近く発行されました。

(問い合わせ) 開高健関西悠々会

電話 090-8750-4961 吉村